



会議の様子 (5/15)



生きがいセンターの現地視察 (5/15)

平成31年度一般会計予算に計上の、公設民営塾の通年化に係る事業の予算執行については、新年度において、所管の委員会での議論、検討を重ね、委員会、全員協議会の合意を得てから執行することとしていました。(令和元年5月発行の議会報172号で掲載)

その後開催されました、3回の所管の総務文教常任委員会での協議内容について、次のとおりお知らせいたします。

総務文教常任委員会

第5回総務文教常任委員会
(4月17日開催)

担当課の生涯学習課長から、通年開設に向けた開設場所として、共和地区集会施設(生きがいセンター)の改修を行い使用したい旨の説明を受け、併せて通年化に向けて、通年化の期間、指導内容、対象者経費等の説明を受けた。

これに対して、各委員から次のような意見が出された。

① 既存施設の利用を検討してはどうか

② 生徒のことを思つてのことだと思つが、共和にこだわらなければならないのではないか

③ 生きがいセンター改修に対する自治会との合意形成が必要ではないか

第6回総務文教常任委員会
(5月15日開催)

以上を踏まえて、次回委員会でも再協議することとなった。

生涯学習課長から、前委員会(4月17日開催)で再協議となった案件、既存施設の試験的利用、共和地区集会施設利用に係る地元調整及び改修費用(1千933万8千円)、津別高校生へのアンケート調査及び進路ガイダンスの実施、津別高校生の講習会参加率の推移などについての説明を受けた。

これに対して、各委員から次のような意見が出された。

① 既存施設(議会会議事堂、町民会館、中央公民館)の組み合わせ等による実施の可能性について検討はできないか

② 自治会に対しては、時間を

第8回総務文教常任委員会
(6月19日開催)

かけての説明及び十分な配慮が必要ではないか

③ 耐震性を含め老朽施設に多額の費用をかけるのはどうか

以上を踏まえて、9月から議会会議事堂を使う方向で検討し、準備を進める。結論が出るまでは予算は保留とすることとなった。

生涯学習課長から、議会会議事堂を使用し9月から年度末までの期間、公設民営塾として通年的に実施したい旨を提案され、通年化に係る経費について説明を受けた。

委託費用は7月から3月までの委託期間として、1千739万6千27円。議会事堂での開設にあたり備品等の初期費用は108万9千158円で、初期費用は現予算内で賄えるとのことであった。

また、新設整備事業として計上した予算3千470万6千円については、9月定例会議会において減額補正としたいとのことであった。

これに対して、各委員から次のような意見が出された。

① アンケート調査・進路ガイダンスの実施等はどうか考えているのか

② これまでの出席率を超えないといけないのではないか

③ 町外通学生にも不利益が生じないような通年化実施の周知方法を検討するべきではないか

④ 効果測定を示すことは重要であり、点数が上がるなどの成功体験も加味してはどうか

以上を踏まえて、9月から議会会議事堂での通年化については、総務文教常任委員会として、7月からの予算の執行を了承した。

6月19日の所管委員会での協議結果を経て、翌日の6月20日、第6回全員協議会において、総務文教常任委員会の了承内容が町から提案され、予算の執行について了承することとした。

議会の録画を配信しています

インターネットを利用した定例会の録画配信を行っています。町のホームページにアクセスしてご覧ください。
<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>
「議会インターネット中継」をクリック。

常任委員会 特別委員会



平成31年3月完成の町有物品を保管する緑町倉庫の現地視察(6/4)



今年度整備予定の町道59号線改良舗装工事現場の現地視察(6/6)

総務文教常任委員会

第5回(4月17日)

- ・津別町開町100年記念事業の進め方について
- ・公設民営塾の進め方について

第6回(5月15日)

- ・公用車車庫等建設工事について
- ・町税条例等の一部改正について
- ・過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について
- ・公設民営塾について
- ・財産の取得について(津別中学校PC購入)

第7回(6月4日)

- ・町内視察結果について
- ・特別職の給与減額措置について
- ・庁舎等建設審議会条例の廃止について
- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ・し尿等処理に関する条例の一部改正について

- ・一般廃棄物処理施設条例の一部改正について
- ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・スクールバス条例の一部改正について
- ・公設民営塾の通年化について

産業福祉常任委員会

第3回(5月16日)

- ・手数料徴収条例の一部改正について
- ・国民健康保険税条例の一部改正について

- ・介護保険条例の一部改正について
- ・契約の締結について(上里地区導水管更新工事その1)
- ・契約の締結について(上里地区導水管更新工事その2)
- ・水利施設等保全高度化事業の実施について
- ・スマート農業技術の開発・実証プロジェクトの実施について
- ・財産の処分について(町有林立木)

第4回(6月6日)

- ・町内視察結果について

議会運営委員会

第7回(5月23日)

- ・第4回津別町議会臨時会の運営について

第8回(6月13日)

- ・第5回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

複合庁舎建設等調査特別委員会

第22回(5月29日)

- ・複合庁舎建設等まちなか再生について

第23回(6月20日)

- ・複合庁舎建設等まちなか再生について

議会広報特別委員会

第12回(7月17日)

- ・議会報173号の編集について



町長行政報告

報告された事項

第4回臨時会 (5月29日)

- 第2期津別町障がい者計画の期間
- ふるさと納税
- 高齢者に対するお祝い
- まちづくり協会設立
- 地域おこし協力隊
- 交通安全推進運動
- 木材工芸館のリニューアルオープン
- 津別町民の森ネイチャーセンターのオープン
- 強風による被害

第5回定例会 (6月20日)

- 叙勲
- 寄附
- 殉公者追悼式
- 大地と海をつなぐ植樹
- 建設工事等の発注状況

議会日誌

4月

17日 第5回総務文教常任委員会

5月

15日 第6回総務文教常任委員会

16日 第3回産業福祉常任委員会

23日 第7回議会運営委員会

24日 オホーツク町村議会議長会定期総会（滝上町）

29日 第4回津別町議会臨時会

第5回全員協議会

第22回複合庁舎建設等調査特別委員会

30日 オホーツク圏活性化期成会定期総会・石北本線部会（網走市）

31日 道東4地区管内町村議会議長会会議・北海道町村議会議長会理事會（札幌市）

6月

4日 第7回総務文教常任委員会

6日 第4回産業福祉常任委員会

11～12日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）

13日 第8回議会運営委員会

19日 第8回総務文教常任委員会

20～21日 第5回津別町議会定例会

20日 第6回全員協議会

第23回複合庁舎建設等調査特別委員会

25～26日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）

7月

16日 オホーツク圏活性化期成会役員会（北見市）

17日 第12回議会広報特別委員会

意見書

関係行政庁へ
提出しました

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 令和元年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消、「30人以下学級」の実現に向けた意見書
- 日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書
- 消費税率の10%の中止を求める意見書
- 子どもに係る国民健康保険均等割保険料の負担軽減策を求める意見書
- 高齢に伴う難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める意見書

一 町村議会議員研修会に参加一

6月25日、札幌市で道町村議会議長会主催による研修会が開催されました。研修では、政治評論家 有馬晴海氏が「どうなる？今後の日本政治」と題し、また、中央大学名誉教授 佐々木信夫氏が「地方は変わるか～議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか～」と題し、それぞれ講演がありました。



有馬 晴海 氏



佐々木 信夫 氏

は ぐ る き

元号が変わり令和となつて早2カ月が過ぎました。今年、12年に一度の統一地方選挙と、参議院通常選挙の重なる年です。

5月にオホーツク町村議会議長会の総会が行われ、不肖、私が会長に就任いたしました。その後、道東4地区議長会が札幌で行われ、回りで会長に就任しました。6月、全道町村議会議長会の定期総会が行われ、はからずも副会長という大役を引き受けることとなりました。これも一重に町民各位のご支援の賜りと心から感謝申し上げます。全道各地それぞれ課題を抱えて解決に向けて努力しているところですが、三役の一員としてさらに研鑽を深めていきたいと思っております。

近年、議員のなり手不足が叫ばれています。今回の町村議会議員選挙は、100町村で行われ、内32町村が無競争でありました。2年後は、町議選挙があります。若者、女性、立候補できる名案は、なかなかありませんが、議会報告会を通して、皆で意見交換をしてみたいと思っております。

（鹿中）

歯 車